



# 健康長寿の町をめざして

# 朝ごはん条例

平成16（2004）年、本町は全国に先駆けて「鶴田町朝ごはん条例」を制定しました。平成12（2000）年当時、本町の平均寿命は男女ともに全国平均を下回り、平成13（2001）年に実施した食生活調査から子どもたちの生活習慣・食生活も乱れていることが明らかになりました。そこで健康で長寿のまちづくりの指針として定められたのが朝ごはん条例です。本町では、「こはん」を中心とした正しい食生活の普及や、早寝・早起き運動など、健康で長寿のまちづくりを目指して、子どもから大人まで町民一体となつた活動を展開しています。



## 地球サイズで展開する交流活動

# まなざし フッドリバーへの



フッドリバー市は米国オレゴン州東北部にある風光明媚なまちです。本町がフッドリバー市と姉妹都市を締結したのは昭和52（1977）年。県内では国際化という言葉がまだ一般的ではない頃のことです。以来、中学生大使や留学生の派遣などさまざまな事業をとおして強い絆を育んできました。平成8（1996）年には「世界に開かれたまち」自治大臣表彰（総合的な地域国際化推進のまち部門）を受賞。平成18年度からは、町内全小学校の教育課程に英語を取り入れる英語教育推進特区の認定を受け、国際社会に貢献できる人づくりを推進しています。

Tsuruta Town became a sister city to Hood River, in Oregon USA, in 1977. Since then, there have been many exchanges between the two cities, and as a result, the bond has become strong over many years and will continue to strengthen into the future.

# スチューベンへの情熱

紅葉の季節になると鶴田のまちに、収穫を控えたスチューベンが甘い香りを漂わせます。本町は、スチューベン誕生の地、米国ニューヨーク州と同じ北緯41度に位置しています。気候風土が似ていることから、本町では、昭和40年代から転作作物としてスチューベンの栽培を積極的に推進してきました。現在では作付け面積・生産量日本一を誇ります。リンゴの貯蔵技術を応用することにより貯蔵性も向上し、町の新たな特產品として注目を集めています。スチューベンを使った加工品は100品目にも及び、観光ぶどう園でのもぎ取り体験も人気です。



## 地産地消から新たな発想へ

# 道の駅 あるじやの 想い



The farmer's market, "Aruja", at Michi no eki Tsuruta, sells locally grown products. The most popular products are the gigantic baked goods, which include different kinds of sandwiches, buns and cream puffs. There are also tofu, and custard pudding, which are larger than their regular sizes as well.



国道339号沿いにある道の駅「あるじや」は、地域の交流拠点であるとともに、鶴田産の農産物を活用した商品開発にも力を注いでいます。スチューベンを使った加工品はもちろんですが、ほかにも名物として話題を呼んでいるのが約20種類ある「びっくりパン」シリーズです。焼きそばパンやカレーパン、カツバーガーなどは通常サイズの3~5倍、パイシューは通常の9個分の大きさです。バゲツ・豆腐やバゲツ・豆乳プリンなど大豆加工品も特大サイズ。『安心・安全な鶴田産農産物を活用した商品開発』との想いから発案された名物は売切れになるほどの人気を集めています。